



10月26日 東地申第19号

東京車掌区において社員を犯人扱い  
した事象に対して誠意ある謝罪と  
再発防止を求める申し入れ

団体交渉を行う！

## 交渉のポイント

- ✓ 落書きはあってはならない。なくしていくことを労使双方で認識一致。
- ✓ 落書きに関して、掲示で注意喚起してきたが、再発したため聞き取りを行った。
- ✓ 落書きと同様の文言を書かせたのは「再発防止」と「抑止効果」のためである。特に「問題はない」と考えている。
- ✓ 「筆跡鑑定」は行っていない。
- ✓ 「『犯人探し』だと感じさせたことは申し訳ない。説明にバラつきが出たことは問題であり、首都圏本部として指導を行った。再度説明を求められれば対応する。
- ✓ 聞き取りで書いた文言は、現場の判断で一定期間保管後に廃棄を行う。

詳細は「団体交渉情報」  
をチェック！



会社は、  
再発防止で  
あり、特に

# 問題 ない

と回答！

落書きと同様の文言を書かせたことについて



10月26日 東地申第19号

## 東京車掌区において社員を犯人扱いした事象に対して

### 誠意ある謝罪と再発防止を求める申し入れ 団体交渉を行う！（その1）

1. 東京車掌区で発生した落書きについて首都圏本部としての見解を明らかにすること。

回答: 会社施設内における落書きについては、個人に対する誹謗中傷であることはもとより、職場規律の厳正および施設管理権を侵害するものであり、到底看過できない問題であると考えている。

#### 組 合

- ◆ あってはならない事象だと認識している。回答の通りの認識で良いか。
- ◆ 東京車掌区の社員が行ったと思われるから聞き取りを行ったのか。

#### 会 社

- あってはならないと認識している。再発防止のため取り組んでいるところである。
- 書かれていた文言と、発生した時間から判断している。乗務員カバンへの悪戯も発生した。

2. 当日勤務した社員に対して落書きと同様の文言を書かせようとした根拠を明らかにすること。

回答: 会社施設内における落書きについては、個人に対する誹謗中傷であるとともに、職場規律の厳正および施設管理権を侵害するものである。注意喚起の掲示等を行ってもなお事態が改善されないことから、再発防止および職場規律維持の必要性において、実施したものである。

#### 組 合

- ◆ 落書きが再発したことで行ったのか。
- ◆ 再発防止と規律維持が目的か。
- ◆ なぜ、落書きと同様の文言を書かせたのか明らかにすること。
- ◆ 筆跡は「個人情報である」と認識している。
- ◆ 現場の判断で行ったのか。
- ◆ 落書きが繰り返し発生したことは周知されていない。そのような中で聞き取りが行われたことに納得感がない。
- ◆ 聞き取りをされた際の対応は「犯人扱い」をされているように感じた。当初は「落書きの写真に当てはめてみて確認する」ことが言われた。しかし、後々になって「抑止効果のため」と変化した。
- ◆ 社員を「犯人扱い」しているという認識が本交渉の主旨である。原因がコミュニケーション不足であるなら説明すべきだ。
- ◆ 文言を書かせたことで、職場内では疑心暗鬼が蔓延った。安全運行を担う乗務員の職場において、問題であることを認識すべきだ。
- ◆ 今後は同様の手段を用いないことを求める。

#### 会 社

- 掲示で周知したが、同様の事象が発生したため行った。
- その通りである。
- 聞き取りだけでは再発する可能性があった。「再発防止」のために行った。
- 個人情報とは認識していない。
- 現場の判断で行っている。首都圏本部にも報告はしたが、その時にはすでに始まっていた。
- 発生日時が絞られていること、落書きされた社員の心情を配慮して個別に説明した。全員に周知すべきとは考えていない。
- 筆跡鑑定は行っていない。再発防止のためであると理解していただきたい。副長によって話が違っていったことは認識している。首都圏本部として注意指導を行った。
- 気分を害した場合は、改めて管理者に申し出てほしい。課題は認識しており、今後発生させないように指導している。今回の事象を改めて説明する考えはない。
- 聞き取りに応じた社員の感情は否定しない。「不快な思いをした」意見は受け止める。
- ケースバイケースであり、同手法を用いる可能性はゼロではない。



10月26日 東地申第19号

## 東京車掌区において社員を犯人扱いした事象に対して

### 誠意ある謝罪と再発防止を求める申し入れ 団体交渉を行う！（その2）

3. 管理者の要求に応じた社員の書面(文言)は、その後どのように扱っているのか明らかにすること。

回答:当該書面は、会社として適切に管理しているところである。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <u>どのように保管しているのかを明らかにすること。</u></li> <li>◆ <u>保管する理由を明らかにすること。</u></li> <li>◆ <u>もし、再発した場合には使用するのか。</u></li> </ul> <p style="background-color: yellow;">使用しないのであれば、保管する必要はない！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>鍵のかかる箇所に厳重に保管している。「個人情報でなければ問題ない」というものではない。</u></li> <li>➢ <u>再発防止のためである。抑止効果として保管する。</u></li> <li>➢ <u>(文言を) 判断することはできない。</u></li> </ul>

4. 管理者の要求に応じた社員の書面(文言)の結果をどのように判断し、どのように周知するのか明らかにすること。

回答:会社として、再発防止および職場規律維持の必要性において実施したものであり、何らかの周知を目的とするものではない。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <u>書かれた文言を、落書きと対照して判断したのか。</u></li> <li>◆ <u>その場で対照されて、判断された社員がいる。「抑止力」と言うが、行っていることは「犯人探し」ではないか。</u></li> <li>◆ <u>当初は「落書きに当てはめる」と言われている。再度説明を行うべきだ。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>判断していない。</u></li> <li>➢ <u>認識していない。今回の方法について、特に問題があるとは考えていない。</u></li> <li>➢ <u>「犯人探し」だと感じさせたことは申し訳ない。説明にバラつきが出たことは問題であり、指導している。再度説明を求められれば対応する。</u></li> </ul>

5. 聞き取りの中で、落書きと同様の文言を書くように求めた全社員に対して誠意ある謝罪を行うと共に書面(文言)を破棄すること。

回答:会社として、再三の注意指導にも関わらず、落書きが繰り返し行われたことを踏まえ、再発防止および職場規律維持の必要性において実施したものである。なお、引き続き当該書面は、会社として適切に管理していく考えである。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <u>謝罪する考えはあるのか。</u></li> <li>◆ <u>書かれた文言は、いつまで保管するのか。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>一律に謝罪する考えはない。</u></li> <li>➢ <u>未来永劫、保管するものではない。一定期間保管した後に廃棄する。廃棄の時期は現場の判断である。</u></li> </ul>

6. 組合員・社員を犯人扱いするような事が無いように首都圏本部として各区所へ指導すること。

回答:会社施設内における落書きについては、個人に対する誹謗中傷であることはもとより、職場規律の厳正および施設管理の観点から到底看過できない問題であると考えている。引き続き、社員が安心して働ける職場づくりを行う考えである。

組 合	会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <u>現場への具体的な指導内容を明らかにすること。</u></li> <li>◆ <u>原因には「管理者とのコミュニケーション不足」がある。乗務員との認識のズレを埋めるべきだ。</u></li> <li>◆ <u>首都圏本部への報告前に現場が聞き取りをしていたことは危険である。違法行為を行ってしまったことが後に発覚してからでは遅い。日頃から現場とコミュニケーションをとるべきだ。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>管理者の認識が合っていなかったことは、反省すべきだと伝えている。各区所へも情報共有を行っている。</u></li> <li>➢ <u>コミュニケーションをとることは普段の業務の基本である。各箇所へ伝えていく。</u></li> <li>➢ <u>その通りである。首都圏本部と現場の連携は密にとっている。今回は、特に問題ないので行った。</u></li> </ul>

**会社は「犯人扱い」をすることのない聞き取りを行うべきだ！**